

• 162: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 教育費の点数と、いじめ条例関連について伺います。

局をまたぎますので、委員長、御配慮をよろしく願いいたします。

まずは、文化財保護費について伺います。

仙台城跡整備基礎調査費等1300万円余が、平成30年第2回定例会一般質問を受け、大手門復元のための交通量調査費がついたことは、御当局そして市長の御配慮に感謝を申し上げたいと思います。

そこで、新年度、交通量調査はいつ行う予定で、どのくらいの回数を行うのか。偏った取り組みではいけないというふうに思いますので、御所見を伺いたいと思います。

• 163: ○文化財課長

検索語: なし

○文化財課長 仙台城跡整備基礎調査費等1311万1000円のうち、交通量調査の予算としては約600万円でございます。

調査の内容は、大手門跡のほか国際センター駅周辺など、合わせて4カ所の交差点におきまして、5月の連休から12月までの間、平日と休日を含め7日間程度、車種別、方向別の通行量を調査する予定でございます。

• 164: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 8カ月近くかけて調査していただくということで、丁寧な対応ありがとうございます。

取得したデータをいち早くまとめていただいて、対応することが必要だというふうに思っております。そのスケジュールと、まさしく大手門復元の諸課題の解決のための活用法について確認をいたします。

• 165: ○文化財課長

検索語: なし

○文化財課長 大手門を復元、整備する場合、市道仙台城跡線は車両の通行どめが必要となるため、周辺の道路の通行量がふえると想定されます。

今回の調査結果から、通行どめとした場合の影響範囲について明らかにし、通勤通学や観光客のアクセスの確保など、必要となる代替処置について検討していく予定でございます。

• 166: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 大手門復元のための一つの課題として、社会的理解が必要だということでございますので、適宜、正しい情報を伝えていただければというふうに思います。

2月28日にえひめ宇和島復興応援フェア2019が秋保ビレッジで開催、PRのため、宇和島市長を初めとした方が来仙され、市長表敬を行われました。

宇和島市は、立派な宇和島城があります。本家と言われる本市は、の疑問が。そこで、文化財課長も御同席されておりましたので、歴史観点から、どのように対応、支援すべきか御所見

を伺います。

また、開催場所である秋保では、昨日、私も家族で買い物に行きましたが、大勢の方でにぎわっておりました。そして売り上げの一部は宇和島市の復興支援にもなります。3月17日まで開催していますので、完売するくらいの勢いで、市役所、区役所、全庁フル参加で全力支援すべきだと考えますが、秋保で開催しているので、代表して太白区長の所見をお伺いいたします。

• 167: ○文化財課長

検索語: なし

○文化財課長 宇和島市とは、宇和島藩初代藩主が伊達政宗の長男であるという縁から、歴史姉妹都市となっております。平成27年には、歴史姉妹都市締結40周年を記念し、宇和島伊達家に伝来した多くの文化財が仙台市博物館で展示されました。

今後も機会を捉えて宇和島市の文化財を紹介し、市民の皆様に両市の歴史的なつながりについて知っていただくよう努めてまいりたいと考えております。

• 168: ○太白区長

検索語: なし

○太白区長 お尋ねの、えひめ宇和島復興応援フェア2019でございますが、現在太白区内の会場で開催をされております。

宇和島市の皆様からは、東日本大震災の際に多大なる御支援を頂戴しているわけでございます。

文化観光局からも、庁内LANを通じまして、全職員宛てにこのイベントの告知、案内が参っております。開催会場を抱えております私ども太白区といたしましても、そうした呼びかけを受けまして、また、この間の議会の御議論も踏まえまして、区のホームページへの情報掲載でありますとか、区役所庁舎へのポスター掲示、チラシの配架などを行っております。

3月17日までの開催期間中、まずは私ども区役所職員が率先して会場に足を運びますとともに、一人でも多くの皆様に御来場いただけますように、微力を尽くしてまいりたいというふうに考えております。

• 169: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 1点、お伺いいたしますが、ちなみに行かれましたか。行ったのであれば、どういう御感想を持ちましたか。

• 170: ○太白区長

検索語: なし

○太白区長 私は一昨日の土曜日の午後に参りました。当日は、午後に参ったんですけども、駐車場に車をとめるのもちょっと苦労するぐらいお客様いっぱいおいでになっておりまして、例えば蛇口をひねるとミカンジュースが出てくるという企画があるんですが、長蛇の列になっておりました。

私どもの総務課の職員とも顔を合わせまして、この土日間に何人か区役所の職員も出てきてくれたのかなというふうに思っております。私も日ごろよりは少しかけ財布のひもを緩めま

して、買い物させていただきました。

• 171: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　私も財布のひも、ゆるゆるで買い物してきましたので、なかなか現地に行くというのは難しいというふうに思いますので、せっかくこっちで開催しておりますので、ぜひ全職員が行っていただくようお願いを申し上げたいと思います。

続いて、昨今の後先を考えないツイート、いわゆるバカッター、バイトテロとも言われる事案に対する本市教育局の所見をお伺いいたします。

ツイッターは、フェイスブックとは違い匿名性が高いという点もあり、広く注目される投稿を行って大きな反響を得たいという欲求で心に油断が起き、過激な投稿に走らせているという指摘があります。

過去の事例、調べさせていただきましたが、山ほどあるので割愛しますが、最近では某すし屋さん等がよくマスコミで報道をされております。

その後、どのようになるかわからず、アップした方は3ばれと言われ、顔ばれ、名前ばれ、学校ばれの3拍子そろって社会復帰が難しくなっています。

本市の学生において、決してそのようなことが起きないように対応、対処すべきと思うので、確認をしていきます。

アルバイトを始める可能性がある義務教育の中学生と、私立高校ではSNS講演を行っている私立学校もあると伺いました。現在の学校の対応について確認をいたします。

• 172: ○教育指導課長

検索語: なし

○教育指導課長 各学校では、各教科や特別活動等の中でインターネットやスマートフォンの利便性を学ぶとともに、安全・安心に利用するための注意点等を、具体的に起こった事例に基づき児童生徒に考えさせるなど、情報モラルに関する指導を行っているところでございます。

今後とも児童生徒の実態に合わせた適切な指導が行われるよう、情報モラルに関する実践ガイドや、各家庭にも配布しております啓発リーフレットなどの活用、さらにインターネット安全教室を行う警察などとの連携を図りながら、情報モラル教育の推進に努めてまいりたいと考えてございます。

• 173: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 確認をいたしますが、中学校、高校両方でやっているということでしょうか。

• 174: ○教育指導課長

検索語: なし

○教育指導課長 はい、いずれも実施しておるところでございます。

• 175: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　スマホの普及はもう本当に当たり前だというふうに思います。やるなと言われるとやりたくなるのがさがでございます。規制を図るのではなく、正しく使う指導が必要であると考えます。未来ある子供たちのために、新年度、幾ら予算をかけてやっているのか、しっかりとした対応を求めますが、御所見をお伺いいたします。

• 176: ○教育指導課長

検索語: なし

○教育指導課長　　121万2000円余の予算をとっております。

内容としましては、啓発リーフレット作成等の費用に充てる予定でございます。

• 177: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　　はい、適宜しっかりとした対応をお願いしたいと思います。

関連して、教師を守るため、対教師暴力についてお伺いをいたします。

対教師暴力について、全国では年間で8,000件から9,000件で推移をしています。

大阪では暴力を受けた教師が市を相手に訴訟することが起きました。

そこで、本市において対教師暴力について、平成29年度の件数とマニュアルの対応と対策をお伺いいたします。

• 178: ○教育相談課長

検索語: なし

○教育相談課長 本市における平成29年度の対教師暴力の発生件数は154件でございます。

暴力は決して許されないという考えのもと、学校では保護者と共通理解を図りながら、当該児童生徒への粘り強い指導を組織的に進めております。場合によっては警察等の関係機関との連携も行いながら、当該児童生徒の内省を深める指導に取り組んでいるところでございます。

• 179: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 大阪の事案で触れますと、暴れる生徒をとめようとすれば体罰になりかねないなどということもありましたので、適切に学校教員を守るためにしっかりした対応を求めたいというふうに思います。

政令指定都市でも比較をさせていただきましたが、1,000件当たり平均が7件、本市においては9.2件というふうに言われております。政令指定都市順位でも4番目に多い状況でございます。こういったことも含め、もう一度御所見を伺いたいというふうに思います。

• 180: ○教育相談課長

検索語: なし

○教育相談課長 日ごろからルールとリレーションのある安心して生活できる集団づくりを進めていくことがまず肝要であると思っております。万が一、暴力などの行為があった場合は、決して許されないという学校として毅然として姿勢で指導を行い、保護者協力のもと、内



省を深めるといった発生の際の丁寧な対応を継続してまいりたいと考えております。

• 181: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　スピード感を持つての対応、よろしくお願ひしたいと思ひます。

10連休に関連して伺ひます。

5月1日は、新天皇の御即位の日であります。初代神武天皇から125代続いた天皇制に、日本国として脈々と受け続けた日本人としての喜びを感じる日であり、心より待ち遠しい日であります。そして、その日を境に、新たな時代のスタートの日であります。

そこで、10連休の中の一日本ありますが、その日は休む、休日の概念ではなく、国旗を掲揚し、まさしく祝う日である祝日の概念の一日だと考えます。可能な限り部活等の開催は遠慮して、可能な限り仕事も遠慮していただければ保育の需要が少なく済むとも考えます。

学校現場では教育長と、行政所管は副市長に、現時点での対応と、御即位される5月1日をどのように考えているのか、御所見をお伺ひいたします。

• 182: ○藤本副市長

検索語: なし

○藤本副市長　本年4月27日から5月6日の期間におきましての本市の行政サービスということになるかと思ひます。

まとめて私のほうから申し上げますと、体育館などのスポーツ施設や博物館、科学館などの市民利用施設につきましては通常の休日と同様に開館をし、初期医療を担う急患センター等に

つきましても診療を行うことといたしております。また、家庭ごみ収集につきましても、従前どおり月曜から土曜日まで実施をいたすこととしております。

このほか、保育施設につきまして休日対応の枠を準備をいたしたりしておるところでございます。

そういったところで、一定程度行政サービスとしましては、きちんと市民の皆様にご提供申し上げるというのを基本としつつも、5月1日というのはまさに御即位をされる日でありますから、仙台市民がともに祝意を持ってその日に当たっていただくというのが基本かと思っておりますので、市としてどういう形の対応がふさわしいかも含めまして、今後、さまざまな情報が多分いただけると思っておりますので、その中で判断してまいりたいと存じます。

• 183: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　ぜひに可能な限り、祝日という一日であることを求めたいというふうに思っています。

ここからは、第64号議案仙台市いじめの防止等に関連する条例について順次伺ってまいります。

まず初めに、四つ目の事案を受けて、第三者委員会の設置時期については、さきの常任委員会でも、私、教育長に確認をしておりますが、三つの事案も含め、2カ月ぐらいのスピード感での設置を求めました。その考えで間違いないかということを確認をさせていただきます。

• 184: ○学校教育部長

検索語: なし

○学校教育部長 昨年11月に発生した事案につきましては、いじめ問題専門委員会において、いじめの事実関係の調査やそれに対する学校、教育委員会の対応について調査を行うこととし、3月1日の教育委員会において、専門委員会へ調査の諮問を行うことについて決定したところでございます。今週中にいじめ問題専門委員会を開催し、諮問をする予定でございます。

専門委員会においては、新たな委員の選任も必要となりますが、できるだけ早い時期に調査を開始できるよう努めてまいります。

• 185: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 こちらもスピード感を持って、被害者の方に寄り添いながら対応していただきたいというふうに思います。

次に、児童虐待防止法と児童福祉法の改正案が今、国会で議論をされているところでありますが、やはり整理をしなければいけないのは、本市の条例にとっても懲戒体罰の関係の解釈であります。教育について、第一義的には保護者にあるということは理解しますが、では、しつけの解釈をどのように認識しているのか。それぞれこの条例でどのように整備されているのかを確認をいたします。

• 186: ○いじめ対策推進担当課長

検索語: なし

○いじめ対策推進担当課長 条例案では、児童生徒がいじめを行っている場合に、教育上、必要があるときは学校教育法に定める懲戒を行うことができるとしており、具体的には叱責や起立、清掃などがございます。一方で、たとえ懲戒であっても、殴るなどの暴力行為等は体罰として法律同様、禁止しております。

家庭におけるしつけという表現は条例案では用いておりませんが、児童生徒がいじめを行うことのないよう、規範意識を養うための指導等を行うことを保護者の責務として定めております。

• 187: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 ぜひに今いただいた答弁を保護者にもわかりやすく伝えることを求めたいと思います。

責務、防止でも保護者の記載があり、ここで対処方法に疑問を覚えるわけであります。四つ目の事案を受けて、保護者との共通理解もとの文言が追加になりました。この対応が被害者、加害者の保護者に寄り添うことができずにこのような痛ましい事案が起きたと考えます。条例全体的に確認をいたします。

また、条例作成に向けて議論をしているさなか、まさしく今回、四つ目の事案が発生いたします。対処が不十分であったと。今回の場合、この条例ではどのような対応をするのかを確認をいたします。

• 188: ○いじめ対策推進担当課長

検索語: なし

○いじめ対策推進担当課長　今回の事案においては、学校や教育委員会と保護者との間に事実認識の相違があったという部分が課題であると考えております。

いじめへの対処に当たりましては、事実確認や経過について、当事者双方の保護者に対し丁寧に説明しながら進めることが重要でございます。これは教職員にとって基本的な心構えであり、徹底する必要がありますので、条例という法規範に明確に位置づけるとともに、市いじめ防止基本方針等に明示してまいります。

これにより、学校現場において、その都度、保護者の方々に確認しつつ、共通の理解に向けて丁寧な対応がとられるよう努めてまいりたいと存じます。

• 189: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員　ここで事実関係について確認をしてみたいと思います。本来、第三者委員会が立ち上げ、そこで語るべきことではありますが、1点だけ確認をさせていただきたいと思います。

1月21日の市民教育委員会でも確認していますが、当該母親は学校に相談している。当該クラスの担任は上司、いわゆる校長に報告をしているが、その対応に疑問を覚える一人であります。校長の対応は適切だったのか。被害者の母親が相談した際、校長は泣きながら対応したこともあったと聞いています。優秀な校長がこのような対応で、適切であったかは大きな疑問を持ちます。そのように対応していたと聞いておりますが、教育局にはそういうふうに対応し

たということが上がってきたのかを確認をさせていただきます。

• 190: ○教育相談課長

検索語: なし

○教育相談課長 校長からの聞き取りの中で、8月に当該児童と母親が、死にたいというメモを持参した際、そのようなことを書いた子供のことを思うと胸が締めつけられ涙ぐんだということ、その後、メモを書いた経緯を母親や当該児童から聞き、夏休みの宿題をやらなくてもいいことを伝えたところ、月曜日に校長室に来ると言って帰ったということを把握しております。

そのほかのことについては現時点では把握しておりません。

• 191: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 わかりました。

昨日、健康福祉費、いじめ関連の市長答弁でも、いじめの因果関係がありつつも、自死事案ではないと言い切るあたりが、今回の法整備が、市長の一丁目一番地としての思いには余りにも軽率であり、問題意識の欠如であります。大きな誤解を招く答弁であると感じております。

そして市長、我々政治家が発言を切り取られるつらさはわかっているはずであります。しっかりと対応を求めますが、いかがですか。また、自死事案ではないと言い切るあたりに、大きな認識の違いにより、ひどい結果になってしまっている現状であります。行政の長として大きな不信感を覚える一人であり、初期対応のまずさは、不適切な対応で前回の答弁で明らかにな

ったと考えますが、改めて今回の事案に対する所見を伺います。

• 192: ○市長

検索語: なし

○市長 当事案は、児童とその母親が亡くなられ、警察が捜査中でもあり、学校が直接立ち入ることができない部分もあることなどから申し上げたものでございます。しかし、もちろんとうとい命が失われたことは大変残念であり、重く受けとめているところでございます。

私といたしましても、今回の事案に至るまでの経緯の中で、当該児童や保護者の訴えや思いを十分に受けとめ、対応できていたのかについて速やかな検証が必要であると、このように認識しております。御遺族の御意向も含めながら、調査を開始するべきと考えておりまして、現在、教育委員会において、いじめ問題専門委員会での調査に向けて準備を進めているところでございます。

• 193: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 条例のSNS相談、昨年8月、9月、10月に対応し、四十数件の相談がありました。相談内容は、性格の悩み、友人関係が半数弱とありましたが、それ以外は何だったのか。具体的にいじめがある等の相談があったのかを確認したいと思います。

また、SNS相談、本年1月にも行っておりますが、件数はいかがか。内容についてお示しをいただきたいと思います。

• 194: ○教育相談課長

検索語: なし

○教育相談課長 2月末現在、実施期間を設定したSNSによる相談は59件で、24時間対応のSNSによる報告、連絡は17件となっております。いじめに関するものが5件で、内容といたしましては、学級内での悪口などの訴えが寄せられておりました。

そのほかの主な相談内容は、性格の悩みを含む友人関係が23件、学業、進路に関するものが5件などとなっております。

• 195: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 いじめの相談が5件という御回答をいただきましたが、その対応についてはどのようになっているのかを確認します。

• 196: ○教育相談課長

検索語: なし

○教育相談課長 いじめ5件のうち、学校名が明らかになり対応につなげたケースも数件ございます。本人の了解を得、学校に情報提供をし、聞き取り、指導、関係修復を進めてきたところでございます。現在も観察を継続しているところでございます。

• 197: ○佐々木心委員

検索語: なし



○佐々木心委員 本当にSOSを出しているわけですので、適宜対応していただければというふうに思います。

前段でも挙げましたが、携帯の使用方法というのは、このいじめの問題でも適切に使用しなければいけないというふうに考える一人であります。いじめも24時間化されています。ここでもやはりスマホの適切な指導方法というのを学校教員、また生徒に伝えなければいけないというふうに考えますが、どのようになっているのかを御所見をお伺いいたします。

• 198: ○教育指導課長

検索語: なし

○教育指導課長 教育局内に、このことに関しましては情報モラル推進委員会という組織を持っておりまして、内容は、学校部会それから家庭部会と二つの部会で、それぞれ学校と家庭が連携してそういった情報モラルの教育を推進していくということで、具体的な冊子等、あるいはリーフレット等もつくりながら推進をしているところでございます。

• 199: ○佐々木心委員

検索語: なし

○佐々木心委員 いじめ対策は、当事者全ての孤立を防がなくてはなりません。被害者、加害者、教員、保護者、皆に言えることであります。市長は、今回の条例で学校現場に何を伝え、市民にどのように伝えて対応していくのかを確認いたします。

• 200: ○市長

○市長 条例案を策定するに当たりまして、私がお伝えしたいことは、いじめは決して許される行為ではないという、この共通の理解を持って、市や学校やそしてまた家庭や地域社会がともに連携を図りながら、いじめの防止等の取り組みを推進していく必要があるということでございます。

いじめ対策におきましては、いじめに悩み苦しむ子供はもちろんのこと、保護者や教職員についても適切な支援を行うことが重要でございます。いじめを受けた子供とその保護者の方に対する支援と、いじめを行った子供とその保護者に対する指導や助言を行うこととしておりまして、また教職員については、学校として組織的に対応することとしております。

私は条例を通して、子供、保護者、そして教職員など誰もが孤立することなく、社会全体で子供たちをいじめから守るために取り組んでゆく、そのようなまちをつくってゆきたいと考えております。